

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2001-8088 (P2001-8088A)

【公開日】平成 13 年 1 月 12 日 (2001.1.12)

【出願番号】特願 平 11-173160

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/243 (2006.01)

H 0 4 N 5/907 (2006.01)

H 0 4 N 9/04 (2006.01)

H 0 4 N 9/68 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/781 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/243

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 9/04 B

H 0 4 N 9/68 A

G 0 6 T 1/00 2 8 0

H 0 4 N 5/781 5 1 0 Z

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 19 日 (2006.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体を撮像し、撮像データを得る撮像手段と、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得る画像処理手段とを有し、前記画像データを複数の記憶手段に記憶させる撮像装置であって、

前記複数の記憶手段のそれぞれに対応付けて画像処理条件を設定するための設定手段と、

前記複数の記憶手段のうち、少なくとも 1 つを画像データの記憶先として選択する選択手段と

を有し、

前記画像処理手段は、前記画像データの記憶先として選択された少なくとも 1 つの記憶手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて前記画像処理を行うことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】 前記選択手段により、前記複数の記憶手段に前記画像データが記憶されるように記憶先が選択された場合には、前記画像処理手段は、記憶先の前記記憶手段の

それぞれに設定された前記画像処理条件を用いて複数回の前記画像処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】 前記画像処理条件が、画像のサイズ又は画像の圧縮に関する条件を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】 被写体を撮像し、撮像データを得る撮像手段と、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得る画像処理手段とを有し、前記画像データを少なくとも 1 つの記憶手段に記憶させる撮像装置であって、

前記画像データを外部に送信するための通信手段と、

前記少なくとも 1 つの記憶手段及び前記通信手段のそれぞれに対応づけて画像処理条件を設定するための設定手段と、

前記少なくとも 1 つの記憶手段及び前記通信手段のうち、少なくとも 1 つを前記画像データの出力先として選択するための選択手段と

を有し、

前記画像処理手段は、前記画像データの出力先として選択された少なくとも 1 つの記憶手段又は通信手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて前記画像処理を行うことを特徴とする撮像装置。

【請求項 5】 被写体を撮像して撮像データを得て、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得て、前記画像データを複数の記憶手段に記憶させる撮像方法であって、

前記複数の記憶手段のそれぞれに対応付けて画像処理条件を設定し、

前記複数の記憶手段のうち、少なくとも 1 つを画像データの記憶先として選択し、

前記画像データの記憶先として選択された少なくとも 1 つの前記記憶手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて、前記画像処理を行うことを特徴とする撮像方法。

【請求項 6】 被写体を撮像して撮像データを得て、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得て、前記画像データを少なくとも 1 つの記憶手段に記憶させる撮像方法であって、

前記画像データを外部に送信するための通信手段を用いて、

前記少なくとも 1 つの記憶手段及び前記通信手段のそれぞれに対応づけて画像処理条件を設定し、

前記少なくとも 1 つの記憶手段及び前記通信手段のうち、少なくとも 1 つを前記画像データの出力先として選択し、

前記画像データの出力先として選択された前記少なくとも 1 つの記憶手段又は前記通信手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて、前記画像処理を行うことを特徴とする撮像方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決すべく、本発明の撮像装置は、被写体を撮像し、撮像データを得る撮像手段と、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得る画像処理手段とを有し、前記画像データを複数の記憶手段に記憶させる撮像装置であって、前記複数の記憶手段のそれぞれに対応付けて画像処理条件を設定するための設定手段と、前記複数の記憶手段のうち、少なくとも 1 つを画像データの記憶先として選択する選択手段とを有し、前記画像処理手段は、前記画像データの記憶先として選択された少なくとも 1 つの記憶手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて前記画像処理を行う。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明の撮像装置の一態様では、前記選択手段により、前記複数の記憶手段に前記画像データが記憶されるように記憶先が選択された場合には、前記画像処理手段は、記憶先の前記記憶手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて複数回の前記画像処理を行う。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明の撮像装置の一態様では、前記画像処理条件が、画像のサイズ又は画像の圧縮に関する条件を含む。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明の撮像装置は、被写体を撮像し、撮像データを得る撮像手段と、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得る画像処理手段とを有し、前記画像データを少なくとも1つの記憶手段に記憶させる撮像装置であって、前記画像データを外部に送信するための通信手段と、前記少なくとも1つの記憶手段及び前記通信手段のそれぞれに対応付けて画像処理条件を設定するための設定手段と、前記少なくとも1つの記憶手段及び前記通信手段のうち、少なくとも1つを前記画像データの出力先として選択するための選択手段とを有し、前記画像処理手段は、前記画像データの出力先として選択された少なくとも1つの記憶手段又は通信手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて前記画像処理を行う。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

本発明の撮像方法は、被写体を撮像して撮像データを得て、前記撮像データに対して画像処理を施して画像データを得て、前記画像データを複数の記憶手段に記憶させる撮像方法であって、前記複数の記憶手段のそれぞれに対応付けて画像処理条件を設定し、前記複数の記憶手段のうち、少なくとも1つを画像データの記憶先として選択し、前記画像データの記憶先として選択された少なくとも1つの前記記憶手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて、前記画像処理を行う。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明の撮像方法は、被写体を撮像して撮像データを得て、前記撮像データに対して画

像処理を施して画像データを得て、前記画像データを少なくとも１つの記憶手段に記憶させる撮像方法であって、前記画像データを外部に送信するための通信手段を用いて、前記少なくとも１つの記憶手段及び前記通信手段のそれぞれに対応づけて画像処理条件を設定し、前記少なくとも１つの記憶手段及び前記通信手段のうち、少なくとも１つを前記画像データの出力先として選択し、前記画像データの出力先として選択された前記少なくとも１つの記憶手段又は前記通信手段のそれぞれに設定された前記画像処理条件を用いて、前記画像処理を行う。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 7 】

本実施の形態においては、第 1 の記憶媒体 1 1 1 は大容量の記憶媒体であり、第 1 の画像処理パラメータ 1 2 1 に対し、画像処理パラメータ設定手段 1 0 6 により、画像サイズが大きく且つ低圧縮率（詳細画像モード）の設定が行われる。一方、第 2 の記憶媒体 1 1 2 は小容量の記憶媒体であり、第 2 の画像処理パラメータ 1 2 2 に対しては、画像サイズは標準（第 1 の画像処理パラメータ 1 2 1 の画像サイズより小さい）で且つ高圧縮率（粗い画像モード）の設定が行われる。記憶媒体選択手段 1 0 7 により、メモ的に粗く小さいサイズの画像データを撮影する時は第 2 の記憶媒体 1 1 2 を選択し、詳細で大きいサイズの画像データを撮影する時は第 1 の記憶媒体 1 1 1 を選択する。